

取組事例集

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 文化芸術への支援施策」

指定都市市長会 文化芸術・教育部会

令和2年7月20日



目次

札幌市	・	・	・	・	1
仙台市	・	・	・	・	2
さいたま市	・	・	・	・	3
千葉市	・	・	・	・	4
川崎市	・	・	・	・	5
横浜市	・	・	・	・	6
相模原市	・	・	・	・	7
新潟市	・	・	・	・	8
静岡市	・	・	・	・	9
浜松市	・	・	・	・	10

名古屋市	・	・	・	・	11
京都市	・	・	・	・	12
大阪市	・	・	・	・	14
堺市	・	・	・	・	15
神戸市	・	・	・	・	16
岡山市	・	・	・	・	17
広島市	・	・	・	・	18
北九州市	・	・	・	・	19
福岡市	・	・	・	・	20
熊本市	・	・	・	・	21

札幌市

札幌市文化芸術公演配信補助金(さっぽろアートライブ)

- 感染拡大の影響で、市内の文化芸術公演の中止・延期が相次ぎ、安心して公演を開催できない状況において、地元文化団体や個人が無観客で開催する公演を配信する場合の経費について補助を行う。

1 事業の手法

- 地元文化団体(個人を含む)が音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等の公演等無観客で開催し動画配信を行う企画を募集し、外部有識者等による選考で採択された団体に対して補助金を交付する。
- 採択された団体がライブ配信や収録配信する公演については、市ホームページに設けるリンクサイトなどを通じて市民が気軽に鑑賞できる仕組みとする。

2 補助の対象者

- 市内を中心に舞台芸術活動を行っており(活動歴を問う)、将来においても市を中心にその活動を行う民間団体、または個人
- 市内のホール、劇場、ライブハウスなどにおいて無観客で開催する公演であること
- 音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等の公演を行うものであること

3 補助の内容(対象経費)

- 1団体に対する補助上限額は、200万円(個人の場合は50万円)
- 採択予定数は50件程度
- 対象経費については、出演料、会場使用料、物件使用料、配信機器のレンタル経費、撮影委託費など

※募集要項(募集期間:5/20~6/10) 選考委員会による審議を経て、6月下旬までに交付予定

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/corona/haishinchozo/gaiyou.html>

【文化芸術に携わる方々への支援等の紹介(リンク集)】

市役所ホームページ内にて、文化芸術に携わる方々への新型コロナウイルス感染症に関する支援等(国、北海道など)をリンク集で紹介しています。(随時更新)

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/corona/link.html>



札幌市文化芸術公演配信補助金

さっぽろアートライブ

アーティストの動画配信を支援します

新型コロナウイルス感染症の影響で公演の場がない個人・団体が無観客公演を行い、その様子をインターネットで配信(ライブ又は収録)する費用の一部を補助します。

good! comment

補助額上限 個人:50万円 団体:200万円	対象活動 通常は無観客で行う実演公演を無観客公演するもの	対象者 札幌市を中心に活動している団体・個人
-------------------------------------	--	----------------------------------

実際の補助額は上限額の範囲内で審査により決定されます。
詳細な応募条件については、下記のホームページで公開している募集要項でご確認ください。

申請期間 5月20日(水) ~ 6月10日(水) 必着
申請受付・問い合わせ 申請受付事務局 TEL.011-272-5566

要項等はホームページで公開しています。
「さっぽろアートライブ」で検索又は右の2次元バーコードをご利用ください。



仙台市

多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人が公共・民間の文化施設に集い、文化芸術活動を共に行うことが困難となっている現状を踏まえ、仙台市内の文化芸術関係者の活動継続を支援するため、一人ひとりが生活や活動する場所から、多様なメディアを工夫して用い、市民に文化芸術を届ける創造的な活動に対して助成を実施。併せて採択事業の広報支援を事務局で実施する。
- 対象者: 下記の要件に当てはまる者。
 - ①個人 仙台市内に住所があり、直近1年間で継続して文化芸術活動を行っている個人
 - ②文化芸術団体 仙台市を拠点とし、直近1年間で継続して文化芸術活動を行っている団体
 - ③民間文化施設 仙台市内のスタジオ、ライブハウス、ギャラリーなど
 - ④上記①～③の助成対象者の2者以上によって構成される任意のグループ・団体
- 対象となる事業: 6月中旬～10月31日までに行われる下記の事業。
 - ①創造・発信事業
 - ・オンラインイベント(動画配信によるライブ・公演・ワークショップ等)
 - ・ウェブサイトや冊子等の媒体を用いた発信を伴う文化創造活動 など
 - ②創造・発信のための基盤づくり事業
 - ・新たな収益モデル事業(クラウドファンディングを活用した取り組み等)の構築
 - ・文化芸術関係者を広く支援するための仕組みづくり(情報発信・調査研究・配信技術等の中間支援) など
- 助成上限額: 創造・発信事業・・・個人: 30万円、団体・民間文化施設50万円
創造・発信のための基盤づくり事業・・・100万円
- 申請期間: 5月8日(金)～29日(金)
- 申請件数: 287件
- 採択件数: 175件
- 予算: 総額6,500万円(助成6,000万円、広報支援500万円)

さいたま市

【新規】つながろうさいたまアートプロジェクト

●趣旨・目的:

市内に活動の本拠を持ち、主として市内在住者で組織する文化芸術団体や、市内在住又は市内で活動する個人を対象に、文化芸術に関する動画作品を募集。

●概要: 上記団体又は個人が制作した5分以内の動画作品(50作品)を募集し、審査通過作品に10万円を交付。 市の公式YouTube等で配信

●募集時期: 7月

【追加・拡充】さいたま市文化芸術都市創造補助金

●趣旨・目的:

市内に活動の本拠を持ち、主として市内在住者で組織する文化芸術団体に対し、団体が主催する文化芸術事業を対象に補助金を交付。

●概要:

①既存の補助制度である「さいたま市文化芸術都市創造補助金」の追加募集。

②動画配信等“新しい生活様式”対応や新型コロナウイルス感染拡大防止策を実施した場合、その費用(上限あり)を上乗せ支給。(既交付決定団体についても適用)

●補助額: ステップアップ事業補助金: 既存上限額18万円+新生活様式対応 上限額2万円

地域活性化事業補助金: 既存上限額200万円+新生活様式対応上限額20万円

基金活用事業分補助金: 既存上限額30万円+新生活様式対応上限額3万円

●募集時期: 8月

千葉市

様々な活動に対する支援メニュー

以下の項目について、検討中

1 新しい生活様式を後押しする活動への支援

(1) イベント開催等の支援

概要: 新たな生活様式を取り入れたイベント等について、開催経費の支援及び市民負担の軽減を行う。

※対象分野、対象者、支援額、支援数、支援対象経費等については検討中

(2) 発表場所の支援

概要: 新型コロナウイルスの影響により、屋内で催し物を行う際には人数制限が掛けられ、今までどおりの公演・発表等を行うことが困難な状況にあることから、市の公共文化施設において開催経費の支援を行う。

※対象分野、対象者、支援対象経費、期間等については検討中

2 習い事教室の支援

概要: 新型コロナウイルスの影響により、継続して習い事教室を開催することが困難となっていることに鑑み、市民が新たに文化芸術に親しみ、体験する機会を醸成することを目的に、また、教室経営者に対する支援として、習い事教室への参加を促す取り組みを行う。

※対象分野、対象者、支援額、支援対象経費、期間等については検討中

【実施済】

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために施設利用を中止または延期した場合の施設利用料の返金

川崎市

川崎市文化芸術活動支援事業(奨励金)

● **概要** 新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の場を制限されている**文化芸術の担い手等を支援**するとともに、**市民が文化芸術に触れる機会を提供**するため、川崎市**動画サイトに掲載**する文化芸術作品や子ども向けコンテンツ等の**制作に対し**奨励金を交付するもの。

● **対象者** 次の条件の全てに当てはまる**個人又はグループ**(ただし、法人格を有するものを除く。)

(1) 申請する個人又は**グループ構成員の住所地又は活動拠点が川崎市**内であること

(2) 過去1年間に川崎**市内**において文化芸術活動の**実績**があること(対価の支払いが行われているものに限る)。

(3) 主として文化芸術活動に係る収入により生計を維持している者

(4) 出演、展示予定だった**イベントの中止**など、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、**収入の減少が見込まれている**こと。

● **対象分野** 文化芸術基本法第8条から第12条に列挙された分野

● **対象となる活動** 文化芸術作品や文化芸術に関する子ども向けコンテンツ等の**動画の制作**

● **奨励金** **上限30万円(1人あたり5万円まで)**[奨励金予算額3千万円]

● **募集期間** 令和2年5月25日(月)～令和2年6月10日(水) ● **申請件数** 282件(669人)

川崎市&東京交響楽団 Live from Muza! ～マッチングギフトコンサート～

● **概要** 市のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団の活動機会の創出および市民が音楽を享受する機会の促進を図るため、無観客webコンサートを実施し楽団への寄付を募集する。寄付と同額相当分(上限1千万円)のコンサートチケットを市が買い取り、市民を招待するマッチングギフトコンサート。

● **公演日程** 第1回:令和2年6月23日(火)・第2回:令和2年6月27日(土)・第3回:令和2年7月3日(金)

● **予算** 総額 **3,640万円**

横浜市

アーティスト等、文化芸術活動緊急支援(合計4億7500万円)

1 臨時相談センター“YES!”

予算：1000万円

文化芸術の担い手を専門家(税理士・社労士等)によりサポートする「臨時相談センター“YES!”」を設立。

対象者：市内在住又は市内に活動拠点のある、文化芸術に関わる個人や事業主

相談申込件数：83件

2 横浜市文化芸術活動応援プログラム

予算：2億7000万円

事業再開に向けた準備活動や、現在の状況下でも実施可能な文化芸術活動に対して最大30万円を支援。

対象者：市内在住又は市内に活動拠点のある、文化芸術に関わる法人や個人事業主

申請数：893件

3 横浜市映像配信支援プログラム

予算：1億500万円

ライブハウス等を活用した無観客公演の映像配信など、社会情勢に合った取組に最大70万円を支援。

対象者：市内在住又は市内に活動拠点のある、文化芸術に関わる法人や個人事業

申請数：352件

4 バーチャル版芸術フェスティバル事業

予算：9000万円

横浜みなとみらいホール等で活動休止中の演奏者による最新技術を活用した動画コンテンツを制作・配信。

公演数：10~20公演 出演者：市内を主な拠点に活動するプロの音楽家、ダンサー等。

主経費：映像ディレクション費・機材費、演奏家・作曲・編曲料等

相模原市

相模原市小規模事業者臨時給付金

● 制度の概要

新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響を受けている市内の小規模事業者（文化芸術に携わる者など個人事業者及びフリーランスを含む）の事業継続を支援するもの

● 対象者

相模原市内で事業を行っている小規模事業者（個人事業者、フリーランスを含む）

● 給付金額

1事業者あたり10万円

● 交付要件

令和2年3月から5月のいずれか1ヶ月の売上が、前年同月比で30%以上50%未満減少していること等の要件を満たした者（令和2年6月1日現在で、国の持続化給付金の交付対象となっている事業者を除く）

● 申請期間

令和2年6月1日（月）～7月31日（金）

● 予算額（対象事業者数）

9億5千万円（9,500事業者）

文化施設使用料の全額還付

● 概要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化施設を利用するイベント等を中止した団体に対し、施設使用料を全額還付（特例規則を定め、令和2年8月31日までは全額還付）

新たな生活様式に即した文化芸術活動に対する補助制度（検討中）

● 概要

施設来場者の間隔を十分に確保した上での公演や動画配信による活動の発表など、新たな生活様式に即した形で実施する文化芸術活動に対し、補助金を交付する制度について検討中

新潟市

アーツカウンシル新潟に相談窓口を設置

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている、本市を拠点として活動している文化芸術関係者を対象に、相談窓口を5月18日に設置。

この相談窓口では、国の支援制度の情報提供や、文化活動の再開に向けた寄り添い型の支援を行っている。

実施を予定している主な取り組み（6月補正で対応）

1. 活動再開に向けた支援

(1) 安心感をもって施設を利用できる仕組みづくり

- ・文化芸術活動の再開への不安を解消するため、活動再開ガイドラインの作成、周知
- ・上記ガイドラインに基づいた公演のノウハウを提供するモデルコンサートの開催
- ・集客力の高い施設へのサーモグラフィーの導入

(2) 発表や活動の場、鑑賞機会の積極的な提供

- ・10月から12月を“新しい生活様式”による「にいがた文化芸術リカバリー月間(仮称)」と位置づけ、市内の公共施設等を市民に開放するステージイベントや、市民の発意による「企画提案型イベント」の開催など、アーティストや市民による発表や活動の場の積極的な提供を行う
- ・市民の鑑賞機会の確保のため、市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)の自主事業等の見直し

(3) 経済的負担の軽減

- ・民間施設を含む市内文化施設を利用する個人や団体を対象とした、施設利用料の補助

2. オンラインを活用した文化活動の支援

- ・オンライン環境の提供（必要な機材と設備の整った会場の貸し出し）
- ・オンライン活用セミナーの開催

静岡市

「まちは劇場」パフォーミングアーツ発信事業奨励金(5月補正)

- 【概要】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市民もアーティストも生活が制限されるなか、“誰もがわくわく、ドキドキに出会える”という「まちは劇場」の活動で市民にエールを届けるため、市内在住のプロのアーティストからパフォーミングアーツの動画作品を公募・配信し、奨励金を交付する。
- 【対象分野】 パフォーミングアーツ(大道芸、演劇、舞踊、音楽、伝統芸能、それらの複合等)
- 【応募対象者】 以下の全てにあてはまる個人またはグループ(ただし、法人格を有するものは除く)
 - (1) 令和2年3月31日以前より住民票を静岡市内にしている者
 - (2) 平成31年4月1日以前より継続してプロフェッショナルとして活動し、静岡市内における芸術文化の振興や発信に関する活動実績がある者(国・県・市指定無形民俗文化財の伝承団体を含む)
- 【対象作品】 以下の全てにあてはまる動画作品を対象とする。
 - (1) 次のいずれかに該当するパフォーミングアーツ作品(① 静岡市民に“元気”または“やすらぎ”を届ける作品、② 静岡市の素晴らしさ(食、文化、特産品など)を伝える作品、③ その他、静岡市のシティプロモーションに資する作品)
 - (2) 応募者が撮影する未発表の作品
- 【奨励金】 1人当たり10万円(グループの場合、上限50万円、無形民俗文化財伝承団体は20万円)
- 【募集期間】 令和2年6月1日(月)～ ※募集人数(200人)に達したところで終了
- 【申請件数】 80件(応募人数 201人)6月5日(金)申請分で締切
- 【予算】 21,000千円



静岡市文化活動緊急支援事業費補助金(6月補正)

- 【概要】 新型コロナウイルス感染防止対策の方針が定められている中、市の方針を十分に理解、遵守し文化活動を行う団体や個人に対して、概ね300名以上収容のホール等の会場使用料の一部を補助する。
- 【対象分野】 文化活動(演劇、舞踏、音楽、民俗芸能、伝統芸能、大衆芸能、メディア芸術、その他静岡市の文化振興に寄与するもの)
- 【応募対象者】 住所が市内にある個人または団体、過去3年のうち、対象施設の利用実績が1回以上ある個人もしくは団体
- 【補助額】 会場使用料及び備品使用料の1/2、上限20万円【1団体(個人)あたり1回まで】
- 【募集期間】 令和2年6月4日から令和3年3月31日まで
- 【予算】 8,000千円

新型コロナウイルス対策提案事業補助金

1. 概要 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている、市内の観光産業及び飲食、流通業に対する経営支援並びに新産業創出促進や市民の利便性向上を図る事業に対して、その資金の一部を支援する。
2. 対象 観光産業等の支援に係る事業、外出自粛する市民の利便性向上を図る事業、演奏動画のオンライン配信等文化芸術に係る事業
3. 予算 40,000千円
4. 文化振興関係の採択事業
文化芸術に係る事業が採択された場合は、その事業の実現に向けて、関係機関と提案者間の調整に協力するなど、側面的なサポートを行っている。

<採択された事業の例>

「吹奏楽ウェブフェスティバル」、「新しい生活様式に対応した音楽ライブ体験の提供」

名古屋市

ナゴヤ文化芸術活動緊急支援事業「ナゴヤ・アーティスト・エイド」

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、文化芸術活動を自粛・縮小せざるを得ない状況に置かれているプロのアーティストやスタッフ等を支援するとともに、ウェブ上での映像作品を通じた活動の機会を設けることで、本市の文化芸術の灯を守り抜き、市民が在宅でも文化芸術を享受する機会を提供するもの。
- 事業概要: プロのアーティスト等から映像作品を募集し、審査を経て一人あたり10万円を支払うもの。
- 対象分野: 音楽、演劇、舞踊、美術、映像、伝統芸能等(分野横断的な取り組みも含みます)
※文化芸術基本法第8条から第12条に列挙された分野
- 対象者: 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、活動を自粛・縮小せざるを得ないプロのアーティスト、スタッフ等で、以下の要件を満たす個人またはグループ
 - ①名古屋市内で活動していること又は名古屋市内を主な活動拠点にしていること
 - ②プロフェッショナル(文化芸術活動により対価を得ており、主にその収入で生計を維持している者で、公演・展示等を行う者及び当該公演・展示等に携わっている者)として過去1年以上継続して文化芸術活動を行っていること
- 対象となる作品
 - ①個人又はグループが制作する新たに制作する未発表の映像作品。ただし既存作品の場合は、新型コロナウイルス感染症の影響により未発表となったものであること。
 - ②5分から15分程度を目安とする映像作品であること。(3分以上、30分以内とする)
- 募集人数: 上限900人 ● 助成金額: 1人あたり10万円(上限50万円、5人分まで)
- 申請期間: 5月25日(月)～6月15日(月)
※受付開始2日目で募集上限900人を超えたため、申請受付を一旦中止し、審査中。
- 申請件数: 1208人(2日間での受付人数) ● 予算: 総額1億円

京都市

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う京都市文化芸術活動緊急奨励金

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、展覧会・公演等の文化芸術事業が、中止・延期を余儀なくされるなど、発表・制作等の機会を失っている文化芸術関係者の活動を支援するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止など、現下の情勢において取り組むことのできる文化芸術活動(企画・制作・実施・リサーチ等)の全般に活用できる定額30万円の奨励金を交付。京都芸術センター、ロームシアター京都等の関連施設と連携した継続的な相談、サポートを実施。
- 対象分野:文化芸術基本法第8条から第12条に列挙された、音楽、美術、演劇、映画、伝統芸能、生活文化など。
- 対象者:個人又はグループのうち、以下の要件に当てはまる者。
 - ①住所地又は活動拠点が京都市内にある
 - ②京都市域において文化芸術の振興や発信に関する活動実績がある。
 - ③新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、作品制作や展覧会、公演等をはじめとする活動機会が失われており、収入の減少が見込まれる。
- 対象となる活動:
 - ①表現部門(作家、演出家、演奏家、俳優、舞踊家など)
 - ・「社会的距離」を保つことのできる文化芸術活動(作品・公演の動画配信等)
 - ・再開期に向けた新たな展覧会・公演事業等の制作準備
 - ②マネジメント・技術部門(制作スタッフ、舞台監督、照明・音響・映像等技術スタッフ、キュレーターなど)
 - ・舞台技術スタッフ等による過去作品のテクニカル面のリサーチ活動、技能向上の取組
 - ・再開期に向けた新たな展覧会・公演事業の企画開発
- 申請期間:5月7日(木)~17日(日)
- 申請件数:1071件 ● 交付件数 924件(6月29日時点)
- 予算:総額3億円 ※ 趣旨に賛同いただいた企業2社からの寄付も活用

ウィズコロナ社会における「京都市文化芸術総合支援パッケージ」

総合的な情報発信及び相談窓口の開設(30,000千円)

ウィズコロナ社会において、表現方法や鑑賞モデルの変更を求められている文化芸術関係者に対し、緊急支援から再開支援まで、それぞれの状況に応じた切れ目のない支援を行う。

- 一元的な情報発信 京都文化芸術オフィシャルサイト(Kyoto Art Box)の改修・強化
- 総合相談窓口の開設 活動継続・再開等の相談に応じる「京都市文化芸術総合相談窓口(仮称)」を開設
- オンライン配信サポート 文化芸術関係者へオンライン配信に関する技術的サポート(撮影・編集・配信・権利処理等)

ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した文化芸術活動の再開支援(50,000千円)

ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した寄付金に本市が同額を負担し、寄付の効果を高めることで、ウィズコロナ社会における文化芸術活動の再開を力強く支援する。

●文化芸術プロジェクトに対する支援

文化芸術活動を行う個人・団体を対象に、ウィズコロナ社会における新たなモデルとなり得る意欲的な事業を募集し事業費に充てる交付金を交付(10件程度, 上限2,000千円)。

●文化芸術の発表・鑑賞拠点に対する支援

ウィズコロナ社会において、事業の再開に取り組む、市内の発表・鑑賞拠点事業者(ライブハウス, 小劇場など)を公募し、維持継続のための交付金(上限2,000千円)を均等配分。

市民が文化芸術に触れる機会の創出「まちじゅうアートフェスティバル(仮称)」(150,000千円)

ウィズコロナ社会においても、文化芸術関係者の活動機会を確保するとともに、市民が文化芸術に触れる機会を創出し、心豊かな市民生活につなげる。

大阪市

市有施設利用のキャンセル料の免除

- 新型コロナウイルス感染症拡大のために、市有施設の利用をキャンセルされた場合のキャンセル料について全額免除

芸術・文化団体サポート事業

- ふるさと寄付金制度を活用し、寄付者が登録された芸術・文化団体を選んで寄附を行うことにより、民間の力を最大限に生かし、市内を拠点として活動する芸術・文化団体の活動を促進

大阪市芸術活動振興事業助成金における開催準備経費の助成

- 大阪市芸術活動振興事業助成金の助成事業について、採択後に新型コロナウイルス感染症の拡大防止を理由に公演を中止された場合、公演開催準備のために要した経費等を対象として、交付決定額及び補助率を上限に助成金を交付

休業要請支援金（府・市町村共同支援金）

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態措置により、劇場等の施設の使用制限による休業の協力要請等を受け、特に深刻な影響を被っている中小企業・個人事業主を対象に、事業継続を下支えする「休業要請支援金（府・市町村共同支援金）」を支給
- 中小企業：100万円 個人事業主：50万円（大阪府と市で1/2ずつ負担）

堺市

堺市文化芸術応援企画（フェニーチェ堺でリスタート）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの文化芸術の分野で練習・発表の場が失われた市内の学生生徒の皆さんや、文化団体の皆さんの文化芸術活動をリスタートする場として、昨年度グランドオープンしたフェニーチェ堺を提供する。

実施期間：令和2年8月1日から11月30日まで

対象団体：堺市内の小中学校から大学（専門学校を含む）の学生クラブ
堺市内を拠点に活動する文化団体

利用料金：学生クラブ 無料
市内文化団体 既定の使用料の半額
※会場使用料及び付属設備使用料を対象

対象施設：フェニーチェ堺 全施設（大ホール、小ホール、大小スタジオ等）

堺市オンラインミュージアムの実施

- 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館に伴い、自宅でも堺市の歴史・文化・芸術の魅力を感じることができるコンテンツを市HP上で公開
【対象施設】
・フェニーチェ堺 ・堺市博物館 ・さかい利晶の杜 ・堺アルフォンス・ミュシャ館

神戸市

STAY HOME #うちで過ごそうアートプロジェクト【予算額 13,000千円】

●ワークショップ編

塗り絵や工作、ダンスや合唱をするなど、視聴者参加型の動画を地域動画チャンネル「KOBE_TV」で配信するため、神戸を拠点に活動しているアーティストから動画を募集。動画制作の謝礼(2万円)を支払う。

[募集期間]4月30日～5月22日 [動画配信URL] <https://kobetv.jp/stayhome>

●鑑賞編

音楽や美術等など本格的なアートを自宅で鑑賞できる動画を地域動画チャンネル「KOBE_TV」で配信するため、神戸を拠点に活動しているアーティストから動画を募集。動画制作の謝礼(1人当たり5万円、5人以上のグループの場合上限25万円)を支払う。

[募集期間]5月8日～31日 [動画配信URL] <https://kobetv.jp/stayhome3>

こうべ文化芸術活動応援事業【予算額 50,000千円】

- アーティストやライブハウス等による、「withコロナ」時代に対応した新たな企画提案事業を支援する。
- 対象者:音楽、演劇、伝統芸能などのアーティスト / ライブハウス・劇場・演芸場等の施設
- 募集期間:令和2年7月8日(水)～8月7日(金)
- 補助額:
 - ・アーティスト 上限10万円/人 (想定250人)グループの場合10万円×人数(上限100万円)
 - ・施設 上限75万円/施設 (想定30施設) ※いずれも補助率10/10

芸術文化公演再開緊急支援事業(区市協調事業)【予算額 110,000千円】

- 舞台芸術(音楽・演劇・バレエ・舞踏・パフォーマンス等)の公演及びそれに伴う練習を実施する利用者に、兵庫県・神戸市合わせて施設使用料50%相当額を補助(上限50万円/日・施設、補助率1/2)

市の公共施設のキャンセル時の料金還付

- 文化施設を含む市の公共施設について、施設利用者が新型コロナウイルス感染防止を理由に利用予約を取り消した場合、既納の施設使用料・利用料金を全額還付

(対象期間) 令和2年2月20日以降の利用分

※今後の取り扱いについては、感染の状況等踏まえ決定

広島市

広島市文化芸術振興臨時支援事業 ～文化芸術の灯を消さないプロジェクト～

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動の中止・延期を余儀なくされている文化芸術関係者を“共助の精神”に立って支援する取組に対し、奨励金を交付する。また、そうした共助の取組にプロアーティストが参加する場合、奨励金を上乘せして交付する。

- 対象となる取組:

(I) 文化芸術関係者を支える共助の取組

取組例: 作品・公演の動画配信サイトの制作、オンラインによる各種教室の開催など

(II) (I)の共助の取組のうち、プロアーティストが参加する取組

- 対象分野: 文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術(映画、漫画、アニメーション等)、伝統芸能、歌唱、茶道、華道、書道など文化芸術全般

- 対象となる取組(要件):

- ・ 広島市内で活動する文化芸術関係者※を5者以上支援する取組であること
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを避ける「新しい生活様式」に配慮した文化芸術活動を支援する新たな取組であること
- ・ 市民が広く視聴、鑑賞、又は参加できること
- ・ 広島市の文化芸術の発展に寄与するものであること 等

※共助の取組により支援を受ける文化芸術関係者は、① 住所地又は主たる活動の場が広島市内であり、
② 広島市内において、原則として直近1年以内に文化芸術活動(例: 公の場(イベント等)での発表、出演、演奏及び展示等)を行っていることが必要。(II)のプロアーティストは、不特定多数の観客に対し対価を得て行った公演・展示等の実績が必要。

- 事業実施期間: 令和2年6月19日(金)から令和3年2月28日(日)まで
募集期間 (前期) 令和2年6月19日(金)から令和2年7月 3日(金)まで
(後期) 令和2年7月10日(金)から令和2年7月27日(月)まで

- 予算: 5千万円

【交付金額(I)】

支援の対象となる文化芸術関係者の数	上限額
5～10	50万円
11～20	100万円
21～30	150万円
31～	250万円

※申請1件あたりの上限額

【交付金額(II)】

区分	上限額
個人、グループ	20万円
団体、法人	100万円

※プロアーティスト1者あたりの上限額

北九州市

① 民間文化施設等事業者緊急支援事業助成金

- 休業要請等に応じた市内の民間文化施設(店舗)等を営業する事業者に対し、次の経費について、1事業者あたり50万円を上限に助成金を交付。
- 支援対象：① ライブハウス、劇場、ホール、映画館、演芸場等の文化施設
② レコーディング・スタジオなどの映像配信が可能な施設
※風営法に定める「性風俗関連特殊営業」に該当する事業者は対象外
- 対象経費：下記の経費の8割(上限50万円 ※②に関しては上限20万円)
① 無観客でのパフォーマンスの映像配信に関する設備等の購入経費
② 事業再開に向けて必要となる施設の感染防止対策に関する設備等の導入費用
- 対象期間：4月7日から7月31日の間に購入または購入予定のもの
- 採択件数：60件(6月末現在)

② アートでつなぐ未来プロジェクト (アーティスト等支援事業)

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動の機会を失っている市内のアーティスト等に対し、作品のWeb公開など、現在の情勢において実施できる文化芸術活動を支援する。
- 対象者：市内在住または主に市内で活動する、プロのアーティスト、クリエイター、スタッフ等
- 対象作品：対象者自ら制作する未発表の3～10分程度の動画作品
(例)自身のパフォーマンス(ダンス、楽器演奏、朗読、寸劇等)
絵画、書道等のライブ制作、アニメーションやドキュメンタリー等の短編映像 など
※3密を避けるため、1作品10人までの人員(グループ)で作成
- 支援内容：1人につき5万円を支援(1作品あたり上限50万円)
- 募集期間：5月25日～6月18日
- 採択件数：527人

福岡市

①文化・エンターテインメント施設への事業継続支援金

②文化・エンターテインメント活動支援事業

● 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市内の文化・エンターテインメント業界の事業継続につなげるため、支援を実施。

①市内の文化・エンターテインメント施設(ライブハウス, 劇場など)に対し, 無観客での映像配信等にかかる経費(カメラ・PC等の機材費, Wi-Fi整備費, 編集・配信コンサルティング料等)について, 対象経費の5分の4, 50万円を上限に支援。

②アーティストやイベント関連事業者等に対し, ウェブ配信動画の制作(出演料, 機材使用料, 編集費等)に関する費用として, 1作品につき50万円を上限に支援(制作に関わった1事業者あたり10万円, 最大5事業者分)。また, 今回の支援で制作された動画作品を取りまとめてホームページに掲載することで, 文化・エンターテインメントの魅力発信を行う。

● 対象者: ①福岡県による休業要請, 時間短縮営業要請の対象となった以下の福岡市内施設の運営者(中小企業・小規模事業者等)

1)ライブハウス

2)劇場等(劇場, 観覧場, 映画館, 演芸場)

3)貸しスタジオ(密閉, 密集, 密接の状態が生じる音楽, 舞踊等のスタジオ)

②福岡市を拠点とするアーティストやイベント関連の中小企業・小規模事業者等

・音楽, ライブパフォーマンス(大道芸など), ダンス, ライブアート, 演劇, 伝統芸能, 書道, 華道等の分野で, 継続的に, 対価を得て公演やイベント等を行った実績があるアーティスト

・照明, 音響, 機材, 編集等の分野でアーティストとともに活動するイベント関連事業者

● 対象となる活動: ①文化・エンターテインメント施設(ライブハウス, 劇場など)における無観客での映像配信

②ウェブ配信動画の制作

● 申請期間: ①5月1日(金)~6月30日(火) ②6月1日(月)~6月30日(火)

● 申請件数: 申請受付中

熊本市

文化・芸術・エンターテインメントの活動支援

- 本市の文化や芸術、エンターテインメントのポータルサイトを開設し、店舗やイベント情報を紹介するとともに、休業しているライブハウスを使用した地元アーティストによる無観客ライブの動画や、熊本城ホールを活用したコンテストを開催・配信する。
また、イベント開催等を支援する寄付金「くまもとエンタメ支援金」を募集するとともに、メジャーアーティストによるくまもとエンタメ支援金応援ライブを開催し、エンタメ業界のコロナ対策経費に関する支援のほか、芸術文化の機運醸成や人材育成等につなげる。

市有施設利用のキャンセル料免除

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、文化施設を含めた市有施設の利用中止、または延期を行った場合、キャンセル料を免除する。(納付済の使用料は全額返金)

熊本市緊急家賃支援金

- 新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響を受けている市内の中小企業・小規模事業者(文化芸術に携わる者などを含む)の事業継続を支援するため、家賃の支援を行うもの。
- 給付金額: 1か月の家賃(35万円)の8割相当額 ※複数施設がある場合、施設毎に支援